

1. 件名：京都大学臨界実験装置（KUCA）の設計及び工事の計画の承認申請
（燃料貯蔵棚の更新及びトリウム貯蔵庫の製作）に関する京都大学複
合原子力科学研究所とのヒアリング（3）

2. 日 時：令和6年1月23日（火） 16：35～18：20

3. 場所：原子力規制庁10階南会議室
※本面談は、テレビ会議システムで実施

4. 出席者：
原子力規制庁
原子力規制部
審査グループ 研究炉等審査部門
加藤上席安全審査官、小舞管理官補佐、加藤試験炉係長、三好技術参与
熊取原子力規制事務所
篠川副所長
京都大学複合原子力科学研究所
副所長 他5名

5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. 配布資料
資料1：京都大学複合原子力科学研究所の原子炉施設 [京都大学臨界実験装置
（KUCA）] の変更に係る設計及び工事の計画の承認申請書 (KUCA 燃
料貯蔵棚の更新)
資料2：京都大学複合原子力科学研究所の原子炉施設 [京都大学臨界実験装置
（KUCA）] の変更に係る設計及び工事の計画の承認申請書 (KUCA ト
リウム貯蔵庫の製作)
資料3：ヒアリング説明資料

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	原子力規制庁のカトウですそれでは本日のヒアリング始めさせていただきたいと思えます。
0:00:08	本日のヒアリングとなりますけれども前回のヒアリングの時に議論もありました臨 界安全性評価のところにつきまして主に議論させていただければと思っております。
0:00:23	まず前回から資料の変更点あるかと思えますので、京都大学からご説明お願い できますでしょうか。
0:00:31	はい。それでは京都大学の山本加賀と、全体からの変更点を説明させていただき ます。
0:00:38	資料 1 の方ですが、
0:00:44	図面、7 ページの図面の方は、こちらは変わってございませんが、次の 8 ページと 9 ページのところに、只野図面がございまして、
0:00:55	埋め込み長さ 90 メートルパーメートルというような、おかしい書き方になっておりま したが、埋め込み深さ 90 ミリメートルと。
0:01:06	いうふうにTなぞと書いておりましたが深さに変更させていただいておりますここに 赤字で書いてございます。これは 8 ページと 9 ページも同様でございます。
0:01:16	それから、10 ページのところで、ですね据付検査のところで、具体的にですねトリ ウム愛用と弾との距離ですね。
0:01:28	1 メートル以上離れて設置しているということを確認するという本、文言を追加して ございます。それと後もう一つ機能検査ですね性能検査といたしましてですね。
0:01:41	固体原則の信用バードケージ及び軽水減速の信用バードケージが括弧内、燃料 貯蔵何収納できることを確認するというのをですね、追加してございます。
0:01:53	それから、
0:01:59	14 ページのところで、適合性についてのところではありますが、21 条の第 1 項第 4 号イのところでございますが、
0:02:13	これは元にならないというふうなことが書いてありましたが、ここに書き書いており ますようにまた不燃性材料を用いるため該当なしというふうに修正してございま す。
0:02:24	それと、
0:02:28	その次のページの 15 ページのですね、26 条のところでございます。これ第 2 項 第 2 号のところではありますが、燃料想定線量であるため再編の必要はないため、 該当なしと。
0:02:42	牛ふんに修正してございます。
0:02:47	Aと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:50	それから、20 ページのところでございますが、赤字のところを書いておりますがですね、当初申請とどういふふうに違うのかと。
0:03:03	いうことをですね赤字の文字でですね書かせていただいておりますと違うところは、燃料醸造な近傍のコンクリート併記を計算モデルに追加したと。
0:03:14	いうのとそれとあとただ、バードケージ方中の落下した場合も考慮してバードケージが互いに隣接した上でさらにトリウム燃料全量それに隣接させた場合についても計算を行ったと。
0:03:25	いふふうに変変更してございます。
0:03:29	それから資料の方に参りましてですね。
0:03:37	復興した、本工程が何か追加した像といたしまして友部さんというものを追加してございますし、それは 27 ページ。
0:03:47	のようですね、モデル 3 というものをですね追加してございます。これは柵からバードケージを外に出しまして、壁の前に、ええと印刷させて、
0:03:59	並べたものというものでございます。これをですねモデル 3 というふうにしてございます。それからですねちょっと
0:04:08	資料が、マニュアルはなくてですね、これにさらにですねモデル 4 というのを追加してございますけども。
0:04:28	モデル 4 ですね。
0:04:31	これがモデル 3 でございまして、それ、さらにですねモデル 4 というのはですねここに表示しておりますようにですね。
0:04:42	ですね、小野寺さんからですね、モデル 4 の時からですね計数の方はですねあと 1 列減らしまして、引き出した分を上積み上げると。
0:04:54	いふふうな格好にしておりますですね、それから答えの方もですねとですね横 1 列減らしまして減らした分を上積み上げると。
0:05:04	いふふうな格好にしております。従いまして少し横幅が狭くなりまして縦に少し高くなっていると。
0:05:12	先ほどと同様にですねトリウム燃料をですねすぐにですね固体燃料の方はですね脇にですねくっつけるような形にしております。
0:05:22	とですね、それで計算結果でございますが、28 ページのところですね、モデル 3 のですね計算結果というものをですね。
0:05:33	今回新たに追加しておりますそれから
0:05:37	計算が、資料提出時点ではまだ終わっておりませんで、とですね、水の場合ですね、
0:05:46	藤の場合について口頭でここに表示してございますが、0 コンマ 43761 という結果となっております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:58	これに対しましてモデル 4 ですね、
0:06:04	モデル元の方ですが、の計算系統がこちらでございまして、先ほどとほとんど変わらないですがモデル 4 の方が、
0:06:14	とですね若干大きくなっていると、そういうふうな結果になっております。
0:06:21	それから、臨界計算の方は以上でございまして後、修正したところといたしましてはですね、添付。
0:06:31	参考資料としておりましたものをですね一番資料の一番後ろの方に移動しております。資料 1 の方は以上でございます。
0:06:44	続きまして資料 2 の方も、説明させていただいてよろしいでしょうか。よろしく願います。では資料 2 の方でございますが、
0:06:56	資料 2 のですね、変更点はですね。
0:07:12	8 ページのところでございます 8 ページのですね、検査項目のところでは据付検査というのがございますが、とですね、具体的にですね、トリウム燃料と醸造の距離ですね、これが 1 メートル以上離れている。
0:07:27	設置されて設置されていることを確認するというものを追加しております。
0:07:33	それから 8 ページの下の方でございます。性能検査の 2 ポツのところでございますが、等ですね表面線量率をこれの車検能力をですね、測定をいたしますと、拡大ともという文言を付け加えております。
0:07:49	それから、
0:07:52	もう一つの変更点は、
0:07:55	ですね、12 ページのところでございますがこれ先ほどのちょうど 7 の方と同じでございますが 21 条のところですね、文言ですね、ここんところですね修正してございまして単に不燃性材料を用いるの向井と那須というふうに変更してございます。
0:08:25	と、18 ページのところでございますが、ですねこれ 26 条のですね核燃料物質貯蔵設備へのですね適合性と、
0:08:37	いうことでございますが、18 ページの下のところですね赤文字で書いてございますがですね、赤字のところを追加してございます 1 台当たり。
0:08:48	約 233kg で貯蔵でき、400kg 以上想像できる設計となっているということと、あと余分のスペースに破損したという燃料要素を保管することができると。
0:09:00	いう方が、文言をですねに修正してございます。それから 19 ページのところでございますがですね。
0:09:10	第 2 項第 2 号についてというところですね、この次のところですね、がございまして、これももとの申請書に書いて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:21	ありました、とですね文言ですね、ここにですね再度追加して書いてございます。それでそれでさらにですね以下、線量評価によって確認した結果を示すというふうになっておりまして前回と。
0:09:37	違っておりますところはですね、まずトリウム現在ですね、トリウム燃料約 2796 なのと、171kgの二つに分けて、
0:09:48	2ヶ所で貯蔵をしていると、いうふうなですね何々ですね、追加してございます。
0:09:55	それともう少し下の方にやりなさいと下から 123 号炉、6 行目のところでございますがですね、トリウム年貯蔵庫は 1 台当たり最大で約 233kg。
0:10:10	トリウム燃料貯蔵できるかというふうに書いてございます前回 239 って書いておりますが、もう少しですね、細かくですね書きまして 233kgというふうにしております。
0:10:24	それから 15 ページでございますが 20 ページの 5 航路であります、とですね、前回と少し文言を変えておりまして
0:10:35	遮へい扉というのがありましたが、正確にすいませんWebだというふうに書いておりましたが遮へい扉の方が正確でありますので、藪田というのをですねからですね佐伯戸村の方に変更しております。
0:10:50	それから、左の写真のところですね、どこが遮へい扉でどこが本体かというのがわかるように書いております。それから左下の図の方にもですね旭飛田と本体の位置がですね、わかるような格好で書いております。
0:11:08	資料 2 の方に、の修正につきましては、以上でございます。
0:11:20	規制庁のカトウです。
0:11:23	もう一つ説明資料を提出いただいております、バードケージの平木鍛冶の変形についての資料もあるかと思っておりますのでそちらのご説明をお願いできますでしょうか。
0:11:35	はい。はい。共同ヤマモトでございます。バードケージが落下した場合にどうなるのかということでありまして、過去に 6 メートルの高さから落下させたという、そういう試験を行っております変形の様子がですねそこに写真で書いて、
0:11:54	ございますが、とですねバードケージをですね 6 メーターから落としましても、内部ボックスに変形を開くと、写真にありますように外枠が大体数センチメートルぐらいで変形する結果になったと、いうことあります。
0:12:10	それで今回製作するもチョウゾウだな、の高さとこの辺はどうかということになりますけども、おそらく大きく変形することはないというふうに考えております。
0:12:23	それからもう一つの方ですね 2 ページ目でございますが、ヘリウム貯蔵庫と、あと燃料貯蔵等ですねこれ耐震Cクラスということの分類についてということあります、まず塗料に貯蔵庫につきましてはですねCクラスになっておりますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:39	地震が来た場合にですね、転倒したりしてですね仲野鳥海燃料が、外にいる主務、こういう恐れがあるということでそのまま線量がどうなるのかということでありまして、
0:12:51	左の方に写真がございますがうわ言案件知ってですね線量実は実際に測ってみましたということで大体 2.7 メートルの高さのところ、約 10mSvになっていると。
0:13:05	いうことでありまして、この時は重量が 270 キロというわけがありますので、全部で 441 ありますか単純に換算しますと。
0:13:15	被ばく線量としましては 17 マイクロCPとパーゴラあるご覧になるであろうと、いうことであります。地震が起きまして各崩壊しても建屋の遮へいというものも考えないというふうにいたしましてですね、秋山でも、距離をまだ 100 メートルと。
0:13:32	出しましてもですね線量はですね大体 0.0209 シーベルトぐらいということでありますからですね次長が速やかに、先ほどからすればもう発生事故当たり 50 名苦しい美術を超えることはないということで、
0:13:46	CEOからその分離できるだろうというふうに考えております。
0:13:50	それから燃料貯蔵代の方であります、燃料貯蔵台が貯蔵してですね等掲示が地震によりまして落下すると、ということがありますが、先ほどの写真にありましては湯山層内の内部ボックスとか燃料の損傷には至らないと。
0:14:06	いうことでその内部のですね臨界安全性には影響しないと、いうことであります。またですねこのバードハウスの堀野シノカワですけども、途方落下試験というのは燃料が入った状態でおやりになったんでしょかなんかそこら辺の資料をちょっと読みきれなかったもんですからちょっと教えていただけませんかでしょうか。
0:14:27	すいません。長大ではですね燃料まで入ってはおりません。
0:14:33	要するに空の状態で落とされたということです。相川の状態でAirCoreの屋外でやっておりますので、家を入れることもできない要するにウエイトだけにするとかですねそういうことも、やり方としてはあったとは思うんですけども、これ実際におやりになったのはその空の状態のバードゲージを落とされたということですね。そうですね。
0:14:53	変わりました。はい。
0:14:56	ということで、燃料創造 7 が用いましてですねそうですねバードケージ元が戒律した状態で浸水しても臨界にはならないと。
0:15:06	いうことで地震によって臨界事故の発生はないです。また時計字で収納しているウラン燃料というこれ低線量であるということでありますので建屋とか空気による遮へいがなくても敷地境界におけるですね、発生事故当たりの線量 50mSvを超えないということで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:23	Cクラスに分類できるというふうに考えております。説明資料の方は以上でございます。
0:15:32	衛藤加藤です。説明ありがとうございます。
0:15:37	それでは規制庁側から質問、コメントコメントといいますか確認させていただきたいと思えます。
0:15:48	まず初めに今ご説明いただいた、
0:15:52	バードケージの落下時の関係について、
0:15:55	その資料なんですけれど、こちらは、
0:15:59	変形外枠バスセンチ程度変形する結果となったとありますけれど、具体的に何センチぐらいとかっていうのはありますでしょうか。
0:16:14	共同学の衛藤でございます。この時のですねこれも50年ぐらい前でして、報告章がありましてそれにしたんですが、その後、ここに書いているような書き方のことしか書いていないと。
0:16:30	具体的な選手とまでは書いていなかったということでございます。
0:16:37	規制緩和カトウでありがとうございます。
0:16:41	報告書にはこういう形ということなんですけれど実際写真とかと比較するともうほとんど変形はないとかそういった感じでしょうか。
0:16:54	ちょうど稲毛常本です。そうです。浅井でございます。はい。
0:17:00	以上、カトウですありがとうございます。
0:17:20	ニュースです。ちょっと幾つか新しいモデルが出てきているということなので、ちょっとお伺いしたいんですが。
0:17:30	まずですねそのトリウム貯蔵庫の配置。
0:17:35	その拘束条件としては、7ページに絵があって、
0:17:44	答えの原則路線から1メートルは話しますということが書いてあるんですけど、これは前を見ると、ちょっと僕自身は、
0:17:57	この左手の壁に沿った、2、
0:18:02	今密着というか押し付けたようなところで置くという、そういうことを、
0:18:09	計画されているんでしょうか。
0:18:12	もしそうであるならばそれがわかるような表現がどっかにあるのかどうかというのをちょっと確認したいんですけど。
0:18:22	はい。郷土大学の山本でございます。
0:18:27	件数が先ほどちょっと
0:18:29	あそこでちょっとですね説明を少し抜けてたかもしれませんが、資料2の方の8ページのところにですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:39	鈴木検査というふうにご書いてございまして、とですね、7ページに示すですね亀井に建設した所定の位置にというふうに、下部に建設したという文字をもう文言をですね今回追加してございます。
0:18:58	わかりました。壁に新設したっていうのもちょっと何かないかなっていう。
0:19:06	気がするんですけども。
0:19:12	要はその1メートル以上ということをお話すっていうことを、ここではモデルの前提にしてるんですけど、1メートル離れてれば、
0:19:24	壁からどんどん離れててですねこの絵で言えば、
0:19:30	うちの答えが色炉心とか軽水減速炉心のほうに近くなっていくようなことも入ってくると、今のモデルで、
0:19:41	果たしていいのかなっていう疑問も出てくるので、
0:19:46	壁に新設という新設って言うたってなんか近いんで、その隙間がある程度あってもいいようにも、あれするんですけど、もうほとんど
0:20:00	なんて、密着したっていうか、壁に。
0:20:04	学則、
0:20:08	一、二、
0:20:10	今度はベントで固定されるすると、そういう言い方っていうのは、できないんでしょうか。
0:20:18	或いはアンカーボルトも所定の位置っていう、要するにこの、
0:20:23	所定の位置っていうのの数字で、
0:20:27	その都度この寸法等販管ホールの位置でもうほとんどこの壁に隣接してると。
0:20:37	ということが読めるのかどうか、ちょっとそこをお伺いしたいんですけど。
0:20:44	京都大学の山元です。まずここで行っております。壁に近接と言っておりますがこの7ページの左っかわの壁のところ、
0:20:55	近づけると。
0:20:57	密接というふうな言い方をしてもいいのかもしれないですが、なるべく仮にぴったりとくっつけると。
0:21:06	ということでございます。具体的にそれどれだけくっつけばいいのかということとはですね、特にここでは規定しておりませんので、ですね最終的には線量評価を、
0:21:16	行うということですがこれは壁から少し離れてもし隙間ができてしまいますと、下部側ですね、鉛が薄くて遮へいが弱くなっておりますので、
0:21:27	土砂量が高くなる恐れがあるということで壁になるべく、ぴったりとくっつけるような、なるべく隙間が出ないようにすると。
0:21:35	いうふうなことを考えておられますも具体的にそれ何、何日とか、そこまで規定するつもりはないということでもあります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:45	ですからちょっと書き方の問題として近接というような、あんまり、もしかしたら適切でないかもしれん。
0:21:55	ないですが、壁になるべく近い。
0:22:00	位置とか、そういうふうな文言に変えることも考えてもいいかと思っております。
0:22:07	はい。以上。
0:22:10	規制庁の三好です。その話すと
0:22:14	主査逸見社長より遮へい上で問題になるっていうお話ですけど、今ちょっと遮へいのことが置いておいて、臨界のモデルとして、
0:22:27	どういう拘束条件が担保されてるのかっていうことをお聞きしてるんですよ。ですからこの1メートルのメーカーで、こう書いてあるけどトリウム兆候ももう、そんなに話さないんだと思いますけど。
0:22:42	ある程度その取り組み農家の設置位置というのを、
0:22:49	明確にすることっていうのはできないんでしょうか。
0:22:56	壁に近接するっていうことは考えられてるってことですけど。
0:23:03	ちょっと具体的な所属としてのアンカーの位置というのも、決まってるわけですよ。ねこの9ページの図面からに。
0:23:16	兄弟面でのアンカーの、
0:23:20	1というのは決まってるんじゃないんですか。
0:23:26	ですから寸法的には図面なり何なりにこのトリウム企画トリウム貯蔵高の、
0:23:34	設置する。
0:23:36	はい。
0:23:38	ていうのが、
0:23:40	図面なり数値で読めるようにしてもらう方がいいんじゃないかと思うんですけど。
0:23:46	その辺いかがですか。
0:23:54	京都大学のMRIでございますが、
0:23:58	こちらの考えといたしましては、ここに書いているようなですね彫像なら、鳥海と一番近いちょうど5段の、
0:24:08	距離、
0:24:09	これが1メートル以上であれば、
0:24:12	臨界上の観点からも、これで十分ではないかというふうに考えておりまして、
0:24:20	特にこれ以上をですね位置を決めるというところまでは考えていないところであります。
0:24:30	すいませんちょっとこちらで相談いたしますのでちょっとお待ちください。
0:26:06	すいません、共同で夜久野ヤマモトでございます。トリウム貯蔵庫につきましては近接という言い方ではなくてですね下流にですねトミスがなるべく密接させると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:17	いうふうな書き方にしたいと思います。壁にもうぴったりとなるべく近づけると、いうことですがですね 7 ページのですね、壁に沿ってですね壁、どの位置かと、具体的に、
0:26:32	どの位置から下部に密接させるんですが、左のですね壁のですねどの位置かということにつきましてはこれ現場合合せをしないといけないところが、
0:26:42	ありまして特に浅尾床にですね、鉄筋が鉄筋が入っておりますとですねそこにある程度打てないと、いうことがありますのでですね若干場所が変わることということがありますので、こちらの方については今 1メートル以上。
0:26:57	ということだけの規定にしておきたいと、いうふうに考えております。
0:27:08	親切じゃなくしてみまん、1 節、
0:27:13	させると、いうふうに変更するという理解でよろしいですか。
0:27:19	米山です。はい。そのように変更したいと思います。
0:27:25	それからあと、これの計算に関係する話なんですけど、この時に、鳥居門田城というの、
0:27:34	保険にしてるんですかその形とか、
0:27:39	的に。
0:27:42	燃料をどういうふうに、その二つを、
0:27:52	何、一応、
0:27:57	振り分けておくということを計画されてるようなんですけど、モデル的なその年度っていうのは、ある程度その、
0:28:04	いわゆる堆積に、
0:28:06	あわせて形状を、
0:28:11	一定の形状を持った形でモデル化してるのかどうか、保証してるんであればその条件を明記してもらいたいということで、必要があるんじゃないかということなんです。
0:28:26	今日ドライブミサワです。
0:28:28	モデル化としてはですね高沢これ
0:28:35	今、
0:28:36	トリウムを入れる、細管というのはあるんですがその高さのものをですね、立方体直法体的全部 400、このキロ数ですね、すべてを
0:28:48	立方体にしております。
0:28:53	有井香田委員ごめんなさい直包帯です。緒交代にしています。
0:28:59	いや、そそれであればちょっとその辺の条件を書いていたいたきたいんですけども、要するに点権限ではないと思いますけど。
0:29:08	説明として、ボリューム燃料具体的にあるボリュームを持ったものを、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:15	廃棄することなんで、どういう性状を、
0:29:21	として扱ってるかと。
0:29:25	その辺を記載して欲しいんですけどいかがですか。
0:29:29	承知いたしました。
0:29:35	じゃその辺は一応、よろしくお願いします。
0:29:43	引地スタッフ、そして加藤です。ちょっと教えてください。先ほどからですね、口頭では、7ページ目
0:29:55	この1班1をもってですね。
0:29:58	金戸、トリウム貯蔵庫を1メートル離すっていうふうに、説明してると思います。ですが、7ページ目の図、それと、
0:30:13	検査のところですね10ページを見たところ、貯蔵庫と他の1メートルではなくて、
0:30:23	燃料と棚を1メートル角にするって言っているんですけど、正しいのはどちらですか。
0:30:32	共同大学の山本です。燃料とターナーを1メートルというのが正しいです。ありましてちょっと銀座の時にどうやってこの1メートル離してるっていうのをやるかわからないんですけど。
0:30:47	児島貯蔵庫ではなくて、事務貯蔵庫の中に、多分ちょっと年度が入って、笹谷さんに入ってですね、その債権の端っこ棚が1メートル隔離されてるっていうことを確認するっていう理解でいいですね。
0:31:03	去年が角山です。はい。その通りでございます。わかりました。
0:31:12	後ちょっと説明があっても関係するんですけど、その燃料補助トリウムどうこうの。
0:31:20	要するに燃料の周りのですねそういう構造材とかそういったものはモデル化されてるんですか。
0:31:29	先ほどね、
0:31:33	すみませんけど、伊佐です。あと、これ鳥居についてはですね、のところは、これすべて出て外に飛び出してしまったと。
0:31:44	いうことを考えておりますのでメーターメタルの状態でもそのまま、
0:31:50	入れております。設置して計算しております。はい。これについてはしております。委員会、
0:32:02	し、すべて下に落ちてどうのこうのってそこへと、今までもそうですがモデル化しておりません。
0:32:15	規制庁のカトウそれは澤さんも入れていないっていう理解でいいですよ。はい。裁判も入っております。了解です。
0:32:32	トリウム燃料は要するにむき出しの形で、先ほどの、ある一定の形状でも取り返してると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:39	実際、
0:32:41	原料の方は、
0:32:43	どうなんですかそのバブ形状は特にモデル化せずに、真ん中の流通容器という か、内部ボックスっていうんですか。それーそこに燃料が、やはり
0:32:59	裸の状態であるという、そういうモデル化になってるんでしょうか。
0:33:06	はい。経済部の三澤です。田部井燃料は、バルキーについてはボックス入れてお りまして、ボックスの中にですね、燃料を答える場合ですと、縦方向にスタックする んですね入れていると。
0:33:20	それから等、軽水の場合は横方向に寝かせてですね、時計時に満杯するとい うことで計算しております。以上です。その中に燃料が、
0:33:32	ある制限のもとで積まれてると、そういうモデルになってる。そういうはい。はい。 課長代理。はいその通りでございます。
0:33:58	後モデル 4 というのはこの結果はまだ出てきてなくて、3 よりもちょっと厳しいと。
0:34:05	というお話なんですけど。
0:34:10	澤井でそのモデル 4 っていうのを追加されてるんですか。はい。京都大学の三沢 です。すみませんモデルさんがですね、
0:34:27	モデルさんをそのまま下に下ろしてちょっと計算等、これ現実的には現実的とい いますか、そんなに高く積み上がるということは当然ないわけなんですけど。
0:34:39	■くらいで、割と平たく言うと計算してモデル化しました。ただやはりもうちょっと 厳しい条件ということでは、
0:34:49	モデル 4 の方がですね、燃料の体同士があのかのケースイトウ答えの燃料を接する 面積が大きくなりますので、
0:35:00	こちらの方が厳しいだろう。■積むというのはちょっとかなり非現実的ではあるん ですがより厳しいだろうということで、このモデルを採用いたしました。で、結果を見 ていただきますと、
0:35:13	1233 桁目ですかね小数点以下 3 桁目のところで若干、モデル 4 の方が大きくな ってるということを確認いたしました、
0:35:24	確かにモデルの方が若干厳しい状況になるということを示したかったところでご ざいます。ただいずれにしても値としては非常に小さな値だというふうに考えている ところがございます。以上です。
0:35:39	すみません。ちょっとまだもう大分もう、
0:35:44	何ですかね、その図がちょっと頭に入っていないんですけど、資料 1 の 25 ページ に、モデル。
0:35:54	というのがあってこれはモデルさんだということなんじゃないですか。
0:36:06	あ、すみません。今日ですね、27 ページがですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:17	モデル 3 になります。これちょっと、
0:36:21	昨日お受けした段階ちょっと計算結果すべて入っておりませんでした、小野でございます。モデル 4 というのは先ほど言いましたようにさらに、
0:36:31	この図を見ていただいたらおわかりになるかと思うんですが、縦方向に積み上げて、答えと軽水をより密着させて、
0:36:42	できるだけ全体として、立方体に近いようにするというのを意図して、このようなところでございます。モデルさんがちょっとやっぱり、
0:36:53	部分としてはちょっと引き上げたくなっちゃったかなということで、ちょっと反省してまして、それでこの立方体 1 回のということでこれをしたところでございます。以上です。
0:37:10	すいません、27 ページ例えばモデル 3 でいうと、これは答えのバードケージは ■■■■■あるってということなんでしょうか。
0:37:22	はい。小谷パッケージ、■■■■■重なってるということですね。■■■■■となります。これ統計水の方は、
0:37:33	とに掛ける ■■■■■重ねて、
0:37:37	■■■■■というふうにしております。
0:37:42	今の画面で共有させていただいております。これ見えるかと思うんですが、この場合は答えの方は、■■■■■で、
0:37:53	■■■■■、それから、時計水の方は、
0:37:59	■■■■■ということでできるだけ立方体に近い形にしたというところでございます。以上です。
0:38:15	恐れ入ります。この今の図面これ、共有できてますでしょうか。どうぞ。ありがとうございます。すいません失礼いたしました。
0:38:26	輸送荷の輝さんが何ですか、横方向にちょっと長くなってるんでそれをさらに積み上げた。
0:38:35	というということですかねその軽水の方を、
0:38:39	ケースの方だけじゃないのか。
0:38:41	はい。共同印刷青井駅の通りでございます。立方体をちょっとできるだけ目指したというところでございます。
0:39:11	前回のヒアリングでも少し議論、議論というかやりとりがあって、厳しい条件での評価ということで、本木さんが医師モデル 4 っていうのが、
0:39:23	出てきて、ある程度こんぐらいのあれで、水に浸かった時もコンマ 4 とかそのぐらいなんで、多少のそのモデルの。
0:39:34	何ていうんすかね一番厳しいっていうところをかどうかはまでは、
0:39:41	議論を深くですね、入らなくてもいいと思ってるんですけど、一方ですね実際の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:48	こういう勝海加算前ですね一応所定の位置っていうのがあるわけですね。これについての計算。
0:39:57	がどのぐらいなってるのかというところについて示していただくことっていうのはできないんですか。
0:40:06	やはり
0:40:09	ナトリウムについては、その 1400 人全部を、まとまった形、これはそういうことが起こり、売るとはほとんど、
0:40:21	幻想で強いというわけですけど、要するにいわゆる所定の位置の、この 7 ページの、
0:40:30	資料での一つはもう離れてると。
0:40:35	保険の二つのあれについては、所定のその考え得るナトリウム燃料をですね、
0:40:46	廃止して、
0:40:48	中産すると。
0:40:51	いう、ちょっとその辺は事実、実態としてどのぐらいなのかっていうところ通常は、そういう計算をした上であとは想定する範囲で、
0:41:04	臨界にならないということを示していただいているんですけど、その実設計に対しての値っていうのを示していただくことっていうのはできないでしょうか。
0:41:37	あ、京都大学の伊佐です。
0:41:40	先日いただいたメール等ではこれ、落下しというか厳しい条件を示せばそれでいいというふうにご指摘をいただいたというふうに理解しているところでございますが、
0:41:56	ちょっと加藤さんからのメールだったかと思うんですが、
0:42:00	規制庁の古藤です。
0:42:04	まず、基本的にはヒアリングのバーを正としていただきたいと思いますんですけどその上でメールでお伝えしたのは本日の資料に反映。
0:42:16	すいませんしなくてもいいという趣旨で、ただそれが必要かどうかについてはヒアリングで確認とかも行った上で、
0:42:25	それ以上議論が必要であれば、会合の場かなと考えております。
0:42:37	それで三好さんから、
0:42:40	今お話がありましたように、厳しいバーいでは臨界しないということは、
0:42:46	それで十分かとは思いますが。
0:42:49	ただその前提として、通常のバーい。
0:42:54	今回の承認の配置だとかの中で示されているものであったとしても、
0:43:01	大丈夫です。
0:43:04	ていうのがその前段として、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:07	入れていただけないでしょうかということで多分、考え方が逆で、はい。通常の配置でこうなっているから大丈夫ですけれども、耐震Cクラスなので、念のため、
0:43:21	加えることを想定しても臨界しませんっていう説明になるかと思っていて、その前提となる通常の配置っていうのも評価できませんでしょうか、そういったシステムになるかなと思うんですけれども。
0:43:35	どうでしょうか。
0:43:45	ちょっとお待ちいただけますですかすみません。
0:44:16	規制庁カトウですか。せめて
0:44:21	一応補足しますと多分前回のヒアリングの場では、
0:44:26	評価前のモデルについては結論出ていなかったと思いますので、今日この場で改めて伺いできればと思っております。そういう意味で資料への追加は不要ということでお伝えしておりました。
0:44:46	はい。京都大学の三沢です。
0:44:50	なんか不要なことをさせられるような気がしてですね。
0:44:55	ちょっと、
0:44:57	趣旨がよく理解できないということがあるんですが、
0:45:04	等、
0:45:07	というのが私の正直な感想でございます。ちょっと待っていただきます。すみません。
0:46:27	はい。京都大学の三沢です。
0:46:30	非常にこんな、あまり意味があると思えない決算を求められるというのは非常に、
0:46:37	あんまり、
0:46:40	すぐにアクセプトしたくないんですが、
0:46:43	規制庁からの、
0:46:46	指示ということで、そのようにさせていただきたいと思います。計算をするということで、
0:46:54	ただこれ審査会合で言わせていただきますね。
0:47:00	どうしてこういうことをしなければいけないかというところを、審査会合で議論すればそれはいいかと思しますので、実ははっきり言わせていただきたいと思います。
0:47:09	それから、実際にモデル化するとすれば、鳥海は、遮へい体に来るんで、ちょっと名前の試合で、この計算がいつだったか、示したことがありますけどやっておりますので、
0:47:23	ちょっとそのような形で
0:47:26	モデル化すると。
0:47:28	いうことでよろしいですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:32	審査会合でしっかりと。
0:47:34	委員の先生の意見を伺いたいというふうに思っております。以上です。
0:47:41	清ちゃん分かったようです。はい。
0:47:46	規制庁の加藤です。よろしくお願ひいたします。
0:48:02	じゃ、臨界安全性評価についてはよろしいリスク会合で、の議論ということで、
0:48:10	京都大学もヤマモトでございますが、実際に7ページにあるような、会計で組んでやってくださいと。
0:48:22	ということでしょうかこれ少し神奈川回ってますのでですね、ボリュームを斜めの位置にありますので、
0:48:31	モデル化が少し面倒だというのは、計算が面倒だというのがありまして、
0:48:36	ここまで曲がったところまで、
0:48:39	考慮する必要があるのかどうかちょっと確認したいんですけども。
0:48:44	それは考えていただければいいんじゃないですか。別に、我々が交渉場所って今この場で審議するっていう、そういうあれはないんで、かつこういう実設計での評価っていうのは、
0:48:58	必要ないっていうそういう考え方をお持ちであれば、それはそういうことを、審査会合の場で、この場で
0:49:08	指示をするとかそういうつもりはありませんから。
0:49:12	ただし、
0:49:14	こちらの方の見解としては、まずは1設計でのあれがあつて、あと耐震C棟で、その配置が崩れるときも、臨界にならないということを確認するとそれは、
0:49:26	基本的には必要だというふうには考え別に個人的に言ってるんじゃないんで、考えておりますので、それに対して異論があるんであれば審査会合で主張していただければいいと思います。
0:49:40	それから、斜めになつてる云々という話は、基本的には山尾さんばかりなつてると思うけど、そういったところは例えば、
0:49:49	安全だね。これモデル上も何か問題が、この程度の配置であるとは思いませんけども。
0:49:59	それができないというんであれば、
0:50:02	それを考慮して、できる範囲で、
0:50:07	妥当なモデルで計算して、考えていただければいいので、今どこまでそれをんっていう、それを、
0:50:18	ここで、C土、
0:50:21	ちゅうか指摘するのはあまり適当じゃないと思うんだよ。
0:50:25	そちらのモデルの作り方の考え方に従って、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:31	考え方をかなり結果を出していただければいいんじゃないか。
0:50:36	ただ要するに自治体新田の計算っていうのは、
0:50:41	いわゆる配置がくるん変わってんがあれば、いらないかどうか、そこは何ですか。
0:50:53	一つ工事の段階で、
0:50:55	その評価だけでいいかどうかっていうのが、これを気になると思うので、そこはしてたパイプがね、主張されるのであれば、そこはそこで議論すれば、
0:51:07	いいんじゃないかというふうに思います。
0:51:12	はい、わかりました。京都大学の山尾でございます。ちょっと確認ですが実際に
0:51:21	この部屋の中の配置を考慮したモデルというのをですね審査会合用の資料と敷いて、計算結果モデルとか計算結果を付け加える。
0:51:32	ということよろしいでしょうか。
0:51:37	室長の加藤です。津波にですね、その評価に時価を要して、うちとしても、来週からかな、説明始まるのは、
0:51:50	来週からちょっと上の方々の説明を始めたいと思っています。ですので評価がすんなり終わるっていうことであれば入れて欲しいんですけど、難しいようでしたら、今回のこの資料をもって2月14日
0:52:09	からやってですね、2月4日の時にうちから、こうやって実際形に基づいた評価をして欲しいっていう形でご検討して、それに対して、京都大学の方って、
0:52:24	説明しますなのか、先ほどあったように、ちょっといろいろ言いたいっていうことであれば、まず京都大学の考え方を述べていただくっていう形にしようと思いますけれど。
0:52:36	なぜ、評価にどれぐらい時間かかりそうですから。
0:52:44	そこすればいいかなと思います。
0:52:48	はい。京都大学の今田です先ほどおっしゃったような方針でよろしいかと思ます。
0:52:56	はい。審査会合としては、現状のモデル3ミサワ2aモデルを追加したようなモデルまで。
0:53:06	ということで、あとは、
0:53:08	そのあとは審査会合という、
0:53:12	わかりました。そうすると今現状をつなげる1からモデル4まで定日提携のものについては、直近の審査会合の資料の中では林ないっていうことですね。
0:53:27	ちょうど約ヤマモトでございます。検討させてください。ちょっとこちらで検討したいと思ます。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:37	もし間に合うようであれば入れるということにしたいと思いますけど。そうですか。了解ですわかりました。じゃあですねちょっとその後出るごめんなさい。実態期のものを、
0:53:49	を入れる方針にするのか、しないのかっていうのはわかり次第ですね、担当課当初と私方に連絡いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。
0:54:01	はい。京都大学の山尾でございます。わかります承知いたしました。
0:54:08	それとちょっとそれは細かいところなんですけれど、モデルの話じゃなくてですね、資料1の20ページ目。
0:54:18	資料1の20ページ目のところで、一番上の第1項第1号について臨界安全性評価について、
0:54:29	そこからの次の当初申請に対してっていうところなんですけれど、書体の当初申請っていう問題と誤解を与えちゃうのかなって私は思っていて、
0:54:44	当初申請っていうとですね、一番最少頃、燃料貯蔵場もその設工認で出した時の、
0:54:54	おそらく昭和50年目とかのことって私は取っちゃうんですね。
0:55:00	それで、当初申請っていうのは、あくまで今回の設行為、本申請の説明に対してこうこういうものを追加しているっていう目で書いていると思いますので、
0:55:14	ちょっと当初申請っていうものを使わなくて、今言った、本申請の説明に、以下の部分を加えたんですっていうふうにしていただきたいと思うんですけどいかがですか。
0:55:28	今日の大学の山本でございます。承知いたしまして誤解のないように、修正したいと思います。ありがとうございます。それでは、
0:55:39	資料1ではなくて、学科の資料がありましてその裏っかわないんですけど、
0:55:52	鳥海貯蔵庫ための耐震重要度Cクラス分類についてのところなんですけれども、一つの他のについてはですね。
0:56:03	限界に対しての説明があるのに対して、1ポツと事務所どこの方に、
0:56:11	国交では、委員会のことが書かれていないのはこここれ何でなんですかね。
0:56:20	ちょうど大学の江本でございます。トリウム自身はこれ当委員会になるものではないということでトリウム単体ではの話ですけどもいうことで特に書いていないということで、
0:56:34	ございます。滑川1でもらいたいと思うんですけど。
0:56:41	特にあれですかここに書いている記載で許可から引っ張っている記載の、許可に書かれていない内容は書けないっていう、そういうわけではなくて、うちの銀行に関しての委員会だよっていうのをかけるっていう理解でいいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:58	協働大学の和でございます。はいその通りでございますけども、ただこの資料自体を補足説明資料ということで、ございますので、今ここに。
0:57:08	書けばいいのかと、こういうことなんですけども。はい。どちらに書けばよろしいでしょうか。補足説明資料ということで事前了解をしていて地方と鳥山町動向についてのところで、どっかしらに書いていただければいいと思いますけどいかがですか。
0:57:25	京都大学業務本部です。はい、承知いたしました。はい。
0:57:30	私からは以上です。
0:57:36	セイコーの小久保です。
0:57:38	先ほどの会話の中の流れんと、臨界のその前提となるところについて確認したいんですけれども。
0:57:50	以前のヒアリングの中で、すぐ配置だとか寸法については、固定してしまっても問題ありませんといった趣旨の、
0:57:59	お話があったように思うんですけど、実態としては少し、
0:58:05	困るような部分もあるっていうようなことになるんでしょうか。
0:58:14	今日丁寧等でございます。ですね、スポーツを決める際にですねコアさんほどだけとかにもよるかと思えますコースはあまり小さくしてしまいますとそこに実際に設置できないとか、例えば床にアンカーがあるとかですね何か他の何か邪魔をするもの。
0:58:32	鉄筋ですね床に鉄筋が下手ですとそこはアンカーを打ってないとか、いろいろ制約が出てきますので、有望な構想はですねかなり大きくすればできますが、
0:58:45	その辺をどうするかというところで、できればあまりその、
0:58:50	寸法は決めたくない、ということで今の7ページのような感じで、しておきたいと考えております。
0:59:00	規制庁の三好ですけどそこは、もしそういうふうな考え方であるのであれば、
0:59:06	それは審査会合で、主張されるのが一つだと思います。ただし、設工認ですからね。
0:59:14	そういう先方で、戸澤当然含むわけですけど、そういう制限をまずつけてそれに対して、こういう計算をするんだってその関係が明確でないと、そもそもこの計算でいいのかっていう話になりますので、
0:59:31	黄砂を実際床もうそれですかねそれで、ただですね、何センチとつけられないのであれば、
0:59:41	そこは何、何センチ以上とか、とにかく、計算モデルが安全なつてると、いうことが判定できるような先方なり、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:53	インベントリなりですねそういうところは明確にしてもらわないと、ちょっとなかなか議論が進まないんじゃないかというふうに思っています。ですからできれば、入れたくないという。
1:00:08	いうことだけではなかなか、どうなのかなというふうな印象を今持ってます。
1:00:23	京都大学の山口でございますが、特にコンクリートからの距離ということで1-1をですね一番厳しい条件ということで密接させたと。
1:00:34	いうもモデルを組んだということで、それ一によりまして下部からの距離とかいうものを開いても規定しなくていいのではないかというふうに考えているところであります。
1:00:47	荻原、入出金の話をされてるんですか。
1:00:52	先ほど池山です。はいそうです球 10 日後の壁のは、距離の話でございます。
1:01:01	それはもちろん店その他については最初壁の効果がどう扱ってるのかって起きたと思いますけど、それはそれでいいと思うんですね。
1:01:11	今、プレミアム貯蔵庫についてのあれが、さっき今密接、左側の壁に密着させるといふ、そんなに隙間を、
1:01:22	積極的なかけ詰まらないということで、表現の修正があったわけですけど、いずれにしても、ある程度
1:01:31	貯蔵庫を実際に配置する位置が、
1:01:37	制限されるということでない、どこに置いてもいいという話で、臨界設計してるわけではないと思うので、
1:01:47	そこら辺のちょっと必要な新法なり、拡張トークの
1:01:54	実設計での評価をする場合には、実際に考えてられる管理を、
1:02:03	について、状況を示して、その上で、計算をしてもらうということが必要だと思いますけども。
1:02:22	ここに一般的なその臨界の計算の流れの話をしてるので、それは特に厳しい条件をつけてる。
1:02:31	つもりはありませんけども、
1:02:43	先ほどこのヤマモトでございますが一応トリウムにつきましては、壁にくっつけると、いうふうな、
1:02:53	ことにしたいと思います。一応、あの通り、資料 2 の方で図面がございます。
1:03:04	ところ。
1:03:10	資料 2 の方の大戸近江 6 ページのところですね、6 ページのところ、右下のところに書いてございますが、
1:03:22	壁がありまして、そのところになるべくくっつけるように、
1:03:28	ちょうどこう置くと、いうことに、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:32	でございます。ということで一応、据えつけ条件の検査として、密接していた状態になっているということを確認すると、具体的に何人いるとまではカクウつもりはございませんが密接という、
1:03:47	ここで壁からの距離はもうここで、どっちへ決まってる、というふうに考えております。
1:03:55	規制庁の三好です。この辺の扱いについては特に異論ありません。あとは、どれだけ端末を設置するのかという話で。
1:04:06	今は下がると。
1:04:08	燃料とちよとリームの燃料体等の教授を1メートル以上というふうにされているので、
1:04:19	そんなそれーその条件、あと二つ目の柱ですか、よくわかりませんが、とにかくその実態に即した、
1:04:30	施設整備副社長に対して委員会を安全側の評価をしていただければいいというふうに思います。
1:04:41	京都大学の方でございます。はい、わかりました。はい。
1:04:51	すいません原子力規制庁の駒井です。
1:04:56	多分、カマエ先生の範疇になるかもしれないんですけど、10ページですね資料をと。
1:05:06	西郷様資料1のですね10ページの、もう燃料の貯層ダラーの、
1:05:14	清付に関してなんですけれど、今も作業もちょっといろいろ、
1:05:23	どういう場所に燃料貯蔵棚を、
1:05:28	配置配置というか固定するつもりなんだっていう話もありましたけれど、
1:05:34	ここで寸法検査っていうところに、8ページ9ページに寸法でアンカーボルトの埋め込み深さを確認すると。
1:05:44	二つ下の据付検査のところ7ページの燃料室の所定の位置の所定のっていうところがあるんですけど。
1:05:54	ここも、
1:05:57	ストレートな言い方すると、ちょっとアンバランスだなと感じるところがあって、要するにどこの位置につけるのかってのは先ほどから話題にはなりましたが。
1:06:10	これアンカーボルトのですね埋め込み深さっていうのはやっぱり、
1:06:14	どうしても入れますかね。要するにですね、これ、この文章のこの説明だと、
1:06:21	8ページ9ページ目を見てもですねこれ、アンカーボルトのスパンとかはね、参考値って、参考値って言わないな、なんか。
1:06:30	結局測定するようになってなくて、
1:06:33	どこの位置になるのかってのが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:37	正確にはわからないのに、この埋め込み深さだけがですね、90mmでしたっけっ てというような形になって、
1:06:46	この辺ちょっと細かい法でいうことを議論するのかどうかちょっとわかんないんで すけれど。
1:06:53	この辺京都大学のその辺の場一井。
1:06:57	それからその配置の確認。
1:07:00	に関するちょっと考え方とかってお聞かせいただけますか。天野カマエ先生じゃな いかもしれません。どなたかわかんないですけど。
1:07:10	すいません。京大の金井でございます。ちょっとお願いがあったんで、
1:07:15	私じゃないかもしれませんがということで、今ずっと木場さんの方から、
1:07:21	この案件の1棟の埋め込み深さのことが言及されたんですけど、ご存知のように 当然耐震を計算する場合にはですね転倒モーメント、せん断力、
1:07:32	曲げも引っ張り力ですねそういうものは当然アンカーの1と1によっても決まるわ けで、それでその引張耐力っていうのは、当然アンカーのオフをリリース埋め込 み深さで決まるということで、
1:07:44	当然耐震上、これは以前もちょっとそんないらんちゃうかっていう話もあったんです けど。
1:07:49	こういう公取委もそうですけど、もうほとんどアンカーの引き抜き力だけで、細木新 垣もあるような話なので非常に我々としては、Cクラスのものにとってのですね一 番大事なところはもうこれ埋め込み深さだと思ってまして。
1:08:03	これ前回も前々回かお話ししましたけど、それで、当然埋め込みの方は9、90mmと いうことで書いてあって、湾海域については図面にある通りということで細かな
1:08:16	ベースプレートの、その辺2日というのも珍しくなくてですね。
1:08:21	ちょっと待ってください。
1:08:30	ごめんなさい出てますよねごめんなさい。検査の対象になってないということで、ご 指摘を思いますけど、アンカーの一番のベース系統の端からどれぐらいかって、こ れで。
1:08:42	全体的にはアンカー間アンカーの間隔は決まるわけですからそれで一応計算をし てるんですけど、おっしゃるようにここの寸法検査がないのに、
1:08:53	詰め込む方だけやっていたられば確かに、
1:08:57	そこはそうかもしれません。もし必要であればそこを検査するという形でもいいん ですけども、NS私もなんか
1:09:08	奥歯に物が挟まったような言い方でしましたけれど、
1:09:15	これは金戸がこれを図る必要がないとかねそういうことね規制があっていない、基 本的に言えないんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:23	それは設置者が考えることなので、それでいい悪いって言うつもりはないんですけどちょっとその辺の考え方のですね、説明。
1:09:34	何ていうか考え方だけを聞いておきたいなと思って。
1:09:39	お話しました今の川井先生のお話だと、
1:09:44	当間とにかく、トリウム造構もそうですけれど、このアンカーの埋め込み型というのは、非常に重要であると。ただそこを図るべきであると。はい。
1:09:56	それで、あとその位置については、
1:10:01	これです。
1:10:04	ベースプレート、
1:10:06	東郷っていう、
1:10:09	いやそうはいかないですけど、カマエですけど、安中部長ずっと書いてあるのは当然蜂谷 4 本あってそれぞれの下に、ベースプレートみたいなものを柱に溶接をして、
1:10:23	その中で今、アンカーなんかの絵があると思うんですけど、これでいくと 150。
1:10:31	150 か 10×150 のベースプレートみたいのがあって、そのある、ある位置に分けてここにアンカーを打つということですね。
1:10:40	曾我部清委員です。蘇武です。そうするとその 150、150 から 150 の正方形の。
1:10:47	一応 150 てこう書いてあるけれども 150 かどうかは、その参考であって、この中の 155。
1:10:58	150 の正方形の中のどこかっていう感じで使いになっちゃうんですかね。あ、ごめんなさい。いやそういう意味で言うとねこの 150 自体もね。
1:11:09	測定する対象になってないんですよ。
1:11:14	計算するっていうかね。
1:11:18	教壇カマエそうですね。それでね、私全然その揚げ足を取るつもりって言ってるんじゃないくて、それはありません。ちょっと今日さんも、その辺の
1:11:32	先ほどのねどういう配置にするんですかっていうところの考え方をちょっと我々も聞いて、聞いてたわけなんですけれど、ここのアンカーの深さも重要なんかもわかりました。
1:11:44	1 に関してはですね、こういうふうな考え方でこの辺はわかりますというような、そういった考え方は述べてもらえればと思います会合では、
1:11:54	ちょっと一時京大のカマエですけど、言ってますけども、これ計算上の問題で、計算を計算するときに、アンカー間隔をどれぐらいするかによって、
1:12:04	当然それを一番最大にですね最初にすれば、当然引っ張り出るわけですから、そこをこの通りですね借地上に 50、150 の中で 50 のところに打つということで、計算すればここをしっかりと守らないと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:18	当然計算結果との整合性はつかないんですけども、例えば間隔をこのペースペーパーの端っこに考えれば、当然これ安全側なので、ここは特に、あとエリアでは白木の、
1:12:30	当然それは疑似的にありますけども、安宅アンカ感覚としてはもうそういう計算してOKであれば、これは当然それ以上に広がれば、当然意見が出てこないわけですからということで、一応そういうスタンスではあります。
1:12:43	それは言ってますけども。はい。わかりました。いやそういう質問が出ればそういう回答をします。なるほど。わかりました。はい山頂安全側で計算してますということで。はい。
1:12:57	わかりました。
1:12:59	はい、わかりました。
1:13:02	今、カマエ先生おっしゃった内容理解しましたんで
1:13:08	それとプラスかわからないんですけど、やっぱり書き過ぎじゃないかっていう議論は別途あるかもしれません。
1:13:18	技術的にどうかって話とは別に、そういう話を出すかもしれませんが、ちょっとそこはまだ決まってる、うちの中では、はい、大園カマエでございます。もしあれでしたら審査会合の場で言っていただければいいと思います。はい。ありがとうございます。
1:13:32	熊取事務所のシノカワです。ですね埋め込みアンカーをウエア植える時はこちらの事務所の方で埋め込み長さを、
1:13:45	アンカーの永沢内海勝田をですね確認して、検査をさせて、
1:13:51	させてもらえばいいという、そういうことでしょうかね。
1:13:56	ちょっとその業者が、ごめん、京大のカマエでございますその辺の検査は事業者検査で我々が、当然、次、事業者検査として、当然アンカーの台数であったり、
1:14:07	埋め込み深さであったり、この感覚であったり、必要なここに書いてある検査を要するところは、事業者が検査することなんですけど、シノカワさんおっしゃったのは、要するに埋め込まれた後ですとですね。
1:14:22	埋め込む深さまでは後では確認はできないものですから、されるときに、こちらが事務所側でちょっと見さしてもらって、規制検査というか来そうだからってことで我々が検査する。
1:14:39	ときに、やっていただくということは、当然、やぶさかじゃありませんし、そういうそれが本筋かもしれないので、はい。おっしゃる通り、後は共同カトウで残しますけど。
1:14:49	協力だけじゃ駄目で現場をっていう話になれば、これ実際家、室作りがする時に、当然その辺で

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:56	こういうことをする我々も当然その工事する前にありますから、その時の日程は、調整してもし必要であれば見ていただくということになろうと。
1:15:06	あると思います。はい。わかりました。どうもありがとうございます。ちょっと時間のあれなんでちょっと、せっかくここに出てきたのでちょっと、先ほどからずっといろいろと市のことについてお話があったので、ちょっと正確に
1:15:20	ちょっと私の方から言いますと、
1:15:22	これ棚田。
1:15:24	当間と両方観光の位置がですねもう 100%決められないといったのは、なお、何度も言ってますけどいかに背景があるので、一切断ということはあまり我々としてもやりたくないの、
1:15:35	最終的にはその奇跡の位置を見て、少しずらすということ。ただ補玉野、大北決まっていますし、ちょうどこの大きさが決まってるので、
1:15:48	その位置としてはその横にずらしたりですね、当然前面に壁と反するということもあり得るかもしれません。ただそういう時の運用も当然ストリームとの間で 1 名名という話ということはもうこれは守らなきゃいけないんですけど相対的には、
1:16:02	そういうことであるんですけども、ただ、その時にですね、今の臨界の話がまだ戻るかもしれませんが、
1:16:09	宇井さん車両も曲がってて、とりあえず先に鳥海があるという現状のそのままのリアルなモデル化ということで、そう。それは当然床からの距離、例えば棚の方ですね。
1:16:21	そうすると少し前に出すかもしれないということであって、ただ、そういう意味で計算は、後ろに壁がベタッと引っ付いてる時を計算すると、これが要するに保守的だということで、
1:16:32	そういうことと、まっすぐのやつを増井山賀ってやつをすぐにする、しかもそれに合わせて取り分動かすということで 1 メーターの間は、間隔はは守るという、
1:16:42	そその相対的な位置関係で、どちらが保守的かということだと思んですけども。
1:16:48	今、由良さんからも曲がってるやつはできなかつたら事業者の考えるっていうおっしゃったので、私としては多分まっすぐをやって非常に現地と違いますけども、
1:17:01	ただ壁からの距離とかですねいろんなこと考えると、もう前に来ることもあるしということでその中で、
1:17:07	一番保守的なモデルかっていうのが、今のモデル 1 とかモデルだと私は思ってたんですけど、そういう多分説明をする、できるかどうかというのは多分、
1:17:20	今三澤も言いましたけど、審査会合で、
1:17:23	話すことだと思んですけど、だから結果的には今日の資料 12、あと 374 を、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:31	出すかっていうのはこれはこの前回からずっと議論になってる耐震シートからの話で、
1:17:36	Cにするんだから、すべてが壊れたときにでも臨界にならないという、究極のモデルを作ってっていうのは一応モデル多分4だったと思うんですけど、そういうことで、耐震C、
1:17:48	ということで特に議論はなく、を置いてるんだという、だから12と。
1:17:55	4、3と4というのは4の方がご指摘だっという話だったので、その四つ目をつくればこの前からの議論で、最新し、
1:18:04	でいいという議論というのは、それ以上の地震でも壊れても、
1:18:08	最終的には一番厳しい体系で、みんなならないということを示せば、その耐震の云々を議論する必要はないと、これは多分規制基準の時に、そこまでの話があったかどうかということもこの前議論になりましたけど、
1:18:22	町説明今日、
1:18:24	上、被災の私は横で聞いてて思ったんですけど。
1:18:28	これ再生の審査会合ということになったので、そういう形でこれ、こちらも検討して資料作りますけど。
1:18:34	なんかちょっとちょっと、今日は説明できなかったかもしれませんが、審査会合はそういう説明をしたい、するようにこちらでは議論したいと思います。すいません。以上です。
1:18:47	規制庁の三好です。前回もちょっといろいろやりとりしましたけども今日も今出てるモデル1とかですね、2とかが、
1:18:57	今の実体験に対して、安全側の評価になって安全かっていうか、臨界モデル上、
1:19:05	なってるかどうかってのはちょっといろんなファクターがあって、
1:19:09	計算上1列に並ベトリウム449ですかお近くの並べてると440キロ全然全量。
1:19:19	その理解させるってのはその意味では、保守側なんですけど。
1:19:25	いわゆるその鳥海町の方角っていうのが、
1:19:27	なんつうかある程度こうこう、
1:19:31	鉄製でできてたり、そういうものだと、結局は車交換も持つわけですよ。ですから、これが左の壁を、
1:19:42	離れてんの1分と年齢は1メートルを確保するけども真ん中の方によるというところまで、実際に許容しちゃうと。
1:19:55	この、今出てる1とか2っていうモデルがですね、
1:20:02	もう反射効果も含めて、安全側になっても評価っていうのは即断できないっていうふうには私は思ってるんですよ。その辺、また議論するんであれば審査会合でやることになるかもしれませんがね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:16	だから、いろんなモデルが出てきてますけど、基本的にこちらで見るのは、実際の市なり、
1:20:26	どう、その二つにどう分けるかというそういう管理なり、
1:20:34	設置上の制限が決まってて、それに対して、モデルが、そんなに下部のね、評価を宇佐美求めるものじゃないですけど、モデルが、
1:20:48	妥当かどうか、それ、そういう観点だけで見てるんで、
1:20:52	その時にまた新城櫛田からいろんなことがあったりなんだりっていう、いかなる場合でも臨界にならないって話があるんで、やっぱそれを評価するとして、
1:21:02	実際こういう配置っていうのは、もうその場所も決めるしはいつも決めるし、
1:21:08	そういうものですから、そういった事故時というか、耐震上の問題で、市が大きく変わったというものは、理解はしますけど。
1:21:21	基本は、所定の位置での、
1:21:24	委員会運営に生かしていいかどうかというのがまず先に来るので、今日は改めて言うか、ちょっとそういう話をしたわけなんですけど。
1:21:37	それについての見解は、
1:21:40	兄弟さんの方の考え方もあるんであれば、審査会合で主張されればいいと思いますし、そこは審査会合の議論。
1:21:50	もう1年、もしですね、それはしたくないということであれば、議論になると。
1:21:56	いうふうには思ってるところです。ですから、要するにモデル上はですね。
1:22:02	結構細かい話すればいろんな出てくるわけですよそのちょうどね、ガードするのかそれってどういうふうに聞くのかとか、なかなか睨んでですね。
1:22:13	これで、これだったら安全だなと思う。
1:22:16	いうことんに、自明であれば、まあいいかもしれませんが、それにしても、実情形での評価っていうのは必要なんじゃないかっていうのはこちらの、
1:22:28	もう今考え方もちゃんとしちゃうんで。
1:22:31	その辺についても話。
1:22:36	議論させていただければと思います。過去、そういった実績を含めてあとまた、耐震上の問題も含めて配置があると。
1:22:45	いうことに対しては、どこまでそれほどやるのかっていうのはケースバイケースで、そのモデルについてかなり議論しなきゃならない場合もありますし、
1:22:56	いやある程度余裕があるんであればこの程度で、大体いるんじゃないかと、それはケースバイケースなんで、それについても、
1:23:05	別にすればいいんじゃないか。
1:23:12	ちょっと私の方で、私も今規制庁で考えてるのはそういうところなので、
1:23:16	それを踏まえ含めてですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:20	駐在さんの方の考え方をまとめられていただければいいと思います。
1:23:28	ちょっと補足的な説明としてはこんな、この程度しかできないんですけど。
1:23:33	京都大学の三沢です。規制庁の考え方は宮地さん個人の考えはよくわかりませんが、厳しい条件ということですね。
1:23:47	モデル 4 というのを考えたということ、これはもうこれ以上のことはもう、すぐ聞き返しだけ申しません。そういう中ですね
1:23:57	今野くんどうするかっていうのについてはまた審査会で議論させていただきたいと思います。他の規制庁の審査官の方のご意見を伺いたいところですが、今日ですよ。
1:24:16	規制庁としてはいろいろ議論の中のヒアリングを含めて言ってるってことだけは申し上げてきますよ。
1:24:23	そういうふうな言い方を前もされたけど、
1:24:26	うちの個人的な意見で他に聞きたいとか何とかそういう言い方ってのは非常に失礼な言い方ですよ。
1:24:35	すいません私はそうに感じたもんですからすいません、ちょっと必要だったら失礼します。
1:24:46	その他のカトウですその他あの 1 点ですね、ちょっと、
1:24:51	ですねお互いの認識を合わせておきたいと思っています。資料 1 の設置位置ですね。
1:25:00	設置位置っていうのが、今日お話を聞いていると、まずオウムな場所。
1:25:08	基本的にはここにおきます。
1:25:11	ですけど、航空機床のコンクリートですね、ハイキング関係上、橘田古閑志村決まらないので、
1:25:22	今ここにはきちんとした寸法は入れずに、ある意味その玉とトリウムトリウム燃料が 1 年間以上を話しますっていうことを書いているだけで、
1:25:35	先ほど確かに柳さんが言いました通り、廃棄をとすると配給を、黄砂の中に盛り込むという書き方であれば、
1:25:47	現在の確保とは大丈夫だよっていうふうには私は理解をしたんですけど、その理解で大丈夫ですか。
1:25:59	京都のこのヤマモトです。はい。ある程度幅を持たせたような形で書くことはできるかと思います。
1:26:09	わかりました。小木曾田内がとにかく一番心配したのは、このは一井が原案を仮に、補足説明もなく、一番悪い上を取った場合なんですけれど。
1:26:22	単に元鳥山貯蔵法っていうのを 1 名掛けるだけでは違うところがいいんだっていう説明を、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:32	ていうのが一番怖い取り方だと思っていて、そんなことは考えていないという理解でいいですね。
1:26:42	はい京都大学ヤマモトですはい。そういう問題でございます。はい。わかりました。
1:26:56	規制庁のカトウですと、
1:27:00	それではこの会議を少し確認したいんですけれど。
1:27:07	資料 2 の 20 ページのところ、これ確認なんですけれども、
1:27:21	先ほど少しコンクリート側の
1:27:27	ものについてはとりあえず底の厚みがないというようなお話もあったかと思うんですけれども。
1:27:39	そこに関連してではないんですけれどここで、具体的な線量、以前のヒアリングのお話と比較して出されるというお話あったかと思うんですけれど、この上側の方が実測を行ったものをモデル化したということで、
1:27:58	書かれているんですけれど。
1:28:00	こちらって単純に実測しただけで、
1:28:04	このモデルから計算を行ったとかそういうわけではないという理解で合っておりますでしょうか。
1:28:13	京都大学の山本でございますが、図 1 の方で、右上の点Bとか、左の方の点、ということ。
1:28:24	はい。ここは実測をした値、それぞれ 8 とか 4 とかいうふうに書いてございます。これ実測した値でございます。
1:28:35	規制庁の方よろしく。それでは、上の方のモデルは完全にこれはモデルだけということで実際の値は測定をして出している。
1:28:44	ということで理解しました。
1:28:54	それから、
1:28:57	これも事実関係だけの確認となりますけれども、
1:29:05	また少し配布の話になるんですけれど、同じ資料 2 の 7 ページのところ、これトリウム長江社長の下部の本つけるということと、7 から 1 メートル離すというお話がありましたけれど、
1:29:18	5m続く間の間の幅については特に制限はない。
1:29:24	ということでしょうか。
1:29:27	はい。京都大学の山本です。特に制限はございますが大体この図のような形にしたいというふうに考えております。
1:29:37	ヒアリングで以前お話あったときには、この間十分に話されているので、互いに線量の影響はないというお話なんですよね。それも認識は合っておりますでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:52	協働大学の和でございます。ですね、確かに完全に近づけてしまいますと、互いに影響がございますが、影響がないような距離にすると。
1:30:03	いうことでただそこまで具体的にはここでは決めてはおりません。はい。
1:30:10	あります。ありがとうございます。
1:30:14	それから、今回追加していただきました 21 条のところの不燃材を用いる 3 回トーマスしていくことなんですけれども、
1:30:27	ブランド化、確認をさせていただいてるんですけど。
1:30:33	結局、
1:30:36	文言見ますと、単純に言いますと、
1:30:41	上出家の適合性の説明ではなくてイの適合性のところで、火災の発生を防止するために可能な限り、
1:30:50	不燃性または難燃性の材料を使用することっていうふうに適応してるかなって思うんですけど。
1:30:58	規制庁拡幅し補足します。今日、他の申請許可のですね、大体その使用している材料を造粒に対して、腎臓光難燃常習することの適合性の説明。
1:31:18	大体、第 1 項 4 号の議を開けているんですね。
1:31:25	それで、ちょっと確認なんですけれど、京都大学さんの工程の 19 ページ目の下の説明から、
1:31:35	他に該当するっていうことにしているんですけど、それに対して何か、なんですかね。絶対入れないと駄目だっていう、なんか理屈とかあります。だからこれだけの陸送に行ったところだと、
1:31:50	私いろいろ設工認の審査やっていますけれど大体のところは、家に適合するのかなと思っているんですけども、いかがですか。
1:32:02	郷土大学の山本でございます。特にいいとしてもいうようにですねありとしても特に支障はございません。
1:32:11	はい。所長の加藤ですありがとうございます。そうしましたらいいにしてもらっていいですか。
1:32:18	承知いたしました園部伊賀有井になります程度はの方は、なしで、結構、
1:32:28	ということでよろしいでしょうか。はい。はいそれでは、特に特に問題はございません。
1:32:35	熊取事務所のシノカワです。ですねやっぱりちょっとアンカーにつきましてはですねちょっとちゃんと埋め込まれたと。焦点の長さで深さまで塗膜踏まえたというのは事務所としてはちょっと確認をさせていただきたいというふうに思っています。
1:32:54	過去にですね他の事業所なんですけども、鉄筋を切るのが鉄筋と干渉してしまったので、等を撤去切らないで、逆にアンカーボルトの方を切って、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:08	それで見かけ上だけちょっと短い状態が生まれたと、いうことがありましたので、そういうことがないよというのを確認させていただきたいというふうに思います。
1:33:20	以上です。広川さんありがとうございますひどいやつですね。桐原駒井です。すいません。
1:33:29	はい。ございました。はい。
1:33:36	データのカタウです。
1:33:40	続きまして少しこちらも確認、考えることを確認したいところになるんですけど、資料1と資料に共通で、
1:33:50	技術基準への適合性のところについて確認させていただきたいところがありまして、
1:33:59	まず、11条のところ機能の確認等なんですけれど、この適合性につきましては、燃料ツールを他のは外観検査により機能が確認でき、またPRAのための保守または修理ができる構造となっておりそのためのスペースが確保できる配置となっているとありますけれど。
1:34:20	ここで具体的な機能とかって何になるんでしょうか。
1:34:25	京都大学の山本です。具体的な今、どのようにおっしゃったのがちょっと聞き取れなかったんですけども、昨日ですか。はい。はい。
1:34:36	鳥海貯蔵庫の場合は、要するに設置した状態から、特に変更がないと、そういうこと。
1:34:46	を確認すると。
1:34:48	いうことでございます。
1:34:52	それはその適合性の中において、
1:34:57	原子炉の安全を確保する上で必要な設備の機能の確認というふうに、技術基準があるかと思うんですけどそういうことではなくてということですか。
1:35:11	日本大学の山元でございます。そうですねはい原子炉というわけではなくて、盗品貯蔵庫としての機能と、
1:35:19	いうことでございます。
1:35:23	規制庁の加藤です。確認したいのですが、ちょっと、
1:35:27	こちらもそうですけれど、核燃料物質の貯蔵という機能を確認する。
1:35:35	食べるものっていう理解でよろしいでしょうか。
1:35:39	はい京都大学の蒲生です。ここではそのようなつもりで書いております。
1:35:49	はい。例えばなんですけれど、18ページで、
1:35:53	具体的にそのあとに続く、機能維持のための保守または修理ができる構造となっており、でありますけれど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:03	これってどういう構造になってるかっていうのがこれだけだとわからないかと思うんですけど、仮に、じゃあ、具体的に書いてくださってお願いした場合と違ってできませんでしょうか。
1:36:17	ちょうど大学の山元でございます。はい、えーとですね。
1:36:21	要するに設工認の検査を受けた状況から、有意な変化がないというふうなことを確認するということになるかと思えます。
1:36:33	そういうことを書き方ができるかと思えます。
1:36:41	規制庁の加藤です。ちょっと趣旨をご説明しますと
1:36:47	今回設工認となりますので、
1:36:51	記載につきましても具体的なものを書いていただきたいと思っております、
1:36:56	設計としてどういうものを、どういう機能があるということを、
1:37:02	ちゃんと。
1:37:05	多分兄弟さん側でも考えられていると思うんですけどそういったものがあつた上でそれを確認するためにこういう構造になっていますっていう説明。
1:37:14	になるのかなと考えていますって。
1:37:17	今のその書き方ですと、
1:37:20	行政についてそのオウム返しみたいになっておりますので、具体的にじゃあどういいう設計になってるんですかっていう。
1:37:28	その実際のものが見えてくるような書き方、ご説明をお願いしたいと思っております、
1:37:35	今回追加して欲しいとかじゃないんですけどもし仮に修正していただきたいとかそういった話があつた場合っていうのは修正していただくことができますでしょうか。
1:37:46	環境大学の山元でございます。はい。修正することができます。室長の加藤です。ですね 11 条と 21 条の適合性の説明、今カトウ小脳がゆ
1:38:01	た当時ですね、適合対象上部を上空にたときにそれが具現化されていないというふうに認識をしております、これについては審査会合で、こちらから指摘しようと思っております。
1:38:17	その際ですね、きちんとちょっとどのような方針で説明するかっていうのをそれまでにご検討していただきまして、審査会合で説明をしていただきたいというふうに思っています。
1:38:32	その際にですね、大分参考になるっていうのが、前回葛西高橋さんの方がやられたですね、燃料要素の目の政策の時の説明となっていると思いますので、
1:38:50	そこをちょっとですねよく確認をし、例えば持っている機能は何だ。総称させる要因って何だ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:00	じゃあ具体的に機能を確認する試験、検査保守周囲って何だとかっていうのを、具体的に説明をしていただければと思いますのでよろしく願いいたします。
1:39:12	京都大学山本でございます。はい。承知いたしました。
1:39:21	そのカトウです。続きまして、トリウム直方向についてなんですけれども、これも何回かヒアリングで確認をさせていただいている点になりますけれども、
1:39:33	鳥井場所高校については、もうある程度設計とかはあるということで、
1:39:39	お話ありましたように、お客さんどこに入れて収納するということで具体的にそれに入れて、入れたときにどういう要領になるか、そういったことも、
1:39:52	もし必要であれば追加するっていうこともできるっていう認識でやっておりますでしょうか。
1:40:00	はい。京都大学の山元です。はい。できると考えております。ありがとうございます。
1:40:07	こちらの趣旨としましては、先ほど伺いました点と同じとなっております、
1:40:13	具体的なところっていうのを変えていただきたいとそういった趣旨で確認させていただいております。
1:40:24	私の方からは以上ですけれども、すみませんちょっとお持ちいただけますでしょうか。次ちょっと確認させていただきたいんで申し訳ございません。
1:41:40	評価の教材ミサワです失礼いたしました安部美馬カトウ様から言われたについて、承知いたしましたどうもありがとうございます。
1:41:49	規制庁の加藤です。補足しますと、こちらも
1:41:53	もう1てしまうと会合の場で確認させていただきたいと思っております、その趣旨につきましても約 233kgまで貯蔵できるっていうお話なんですけれども。
1:42:04	営業上段の方が具体的に、定量的に書いていただいているんですけれど、こちらじゃあどうして 233 キロまで入るのかっていうのか。
1:42:14	資料町からではありませんのでその
1:42:18	また改めてご説明いただければと思います。よろしく願いいたします。
1:42:26	海峡戸田池本です。承知いたしました。
1:42:31	谷井。何かございますでしょうか。はい。共同源でございますけども、先ほど、あと 20 ページのところですね、線量の計算のこと。
1:42:43	ところでございますが、少しこちらの誤解があったかもしれないんですが上の方も、下の方も両方とも計算は行って、
1:42:56	おりまして、デント出す点とb. 飛び出す点の費用計算したと、いうことの計算値を用いて稗田平木を出して、それに実際の測定した線量をかけたということでございます。
1:43:10	規制庁の加藤です。承知いたしました。ありがとうございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:16	他に何か規制庁川から、もしくは京都大学さんの方から何かございますでしょうか。
1:43:24	ちょっとですか。はい。規制庁の三好ですけど今の
1:43:28	遮へい関係の話で、
1:43:31	収蔵庫の、
1:43:34	二つの貯蔵庫の間の距離については、今はかけないと。
1:43:40	いうお話だったんですけど、それは、何を
1:43:45	確認して、その距離を決めることができるんでしょうかちょっとそこを教えていただけますか。
1:43:56	京都大学の山本でございますが、
1:43:59	ですね、基本的に、これ表面がここに書いておりますように、もう多くても3から4 mSvぐらいだと。
1:44:09	いうことでありますのでですねおそらくここでぴったりくっつけても全然20枚下には十分なと思いますのでちょっと先ほどとちょっと発言とちょっと異なりますが特にあれですね。
1:44:24	あえてこの両者の間の距離ですね、特別支援議員を設ける必要はないというふうに考えておりますちょっと先ほどの発言ちょっと訂正させていただきたいと思ます。
1:44:38	要するに表現が20mSvにならない形では、
1:44:43	放射線の方の、
1:44:47	管理としては、その密着することも可能が証明線量しかない。そういうことなんでしょうか。
1:44:57	京大の山元です。はい密着させても特に線量の制限かは特に問題ないと考えております。
1:45:26	規制庁のカトウです他はよろしいでしょうか。
1:45:34	よろしければこれで本日のヒアリング終了とさせていただきますと思います。ありがとうございます。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。